

第39回八尾市人権尊重の社会づくり審議会 会議録（概要）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催

案件1「会長・副会長の選任について」

- ・ 会長に水鳥委員、副会長に朴委員を選出することについて、各委員承認

【主な意見】

案件2「人権についての市民意識調査について」

- ・ 総合的に、人権について学ぶ機会があった方々は人権について意識の高い結果になっていると思うので、あらゆる機会を利用して人権について学ぶ場を作る必要があると感じた。
- ・ どの項目についても言えることだが、「特にない」「わからない」と答えている方に、いかに関心を持ってもらったり、問題意識として持ってもらえるかということが重要だと思う。
- ・ 人権侵害を受けた時に、「何もせず我慢した」と回答した人が多いことに課題を感じた。窓口が分からないのか、相談する人がいないのか、どういった理由なのかを分析することも今後必要なのではないかと感じた。

案件3「部落差別解消推進専門部会の進捗状況について」

- ・ 資料の中に、部落差別解消推進法の理念を具体的に示した方がよいのではないか。
- ・ インターネットを介した差別的な情報の拡散については、一度アップされると回復不可能な危険性があることから、特に意識して議論を進めていただければと思う。
- ・ 「同和問題に対するマイナスイメージ」という文書がしっくりこなかった。例えば外国人では、「外国人問題に対するマイナスイメージ」ではなく、「外国人に対するマイナスイメージ」と言うと思う。

案件4「差別事象等について」

- ・ 子どもが関連する差別事象については、家庭（保護者）の意識も関連してくると思うので、子どもへの人権教育に限らず、保護者への人権啓発も大切だと思う。

案件5「いじめ再調査委員会について」

- ・ いじめはいつでもどこでも起こり得るという意識で、初期対応にあたり、鋭敏な人権感覚と対応力が求められていると思う。